



NEW STAFF

## 新人自己紹介

2022年7月1日着任

## 布能 謙

ふのう・けん

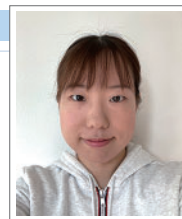
理論・計算分子科学研究領域  
理論分子科学第二研究部門 特任助教

2016年に東京大学で博士（理学）を取得後、北京大学、理化学研究所での特別研究員を経て、2022年7月より石崎グループの特任助教としてお世話になっております。今までは理論物理の中でも、非平衡統計力学と量子情報に関する研究を行ってきました。分子研では生物や分子について徐々に学び、境界領域における面白い現象を調べたいと考えています。よろしくお願いいたします。

2022年7月1日着任

## 谷浦 愛子

たにうら・あいこ

協奏分子システム研究センター  
階層分子システム解析研究部門 技術支援員

2022年7月より、秋山グループの技術支援員としてお世話になっております。以前は食品関係の会社に勤務しており、産後1年半ぶりの社会復帰です。まだまだ不慣れでご迷惑をおかけしている事も多々ございますが、少しでも早く皆様のお役に立てるよう努めて参ります。どうぞ、宜しく願い致します。

2022年7月1日着任

## 杉浦 咲枝

すぎうら・さきえ

国立大学法人総合研究大学院大学 次世代研究者挑戦的研究プロジェクト推進室 事務支援員



主に語学に携わる仕事をしてきました。数学者になるという意思がある息子をもっており、研究者、教授の方々がいっぱいいる研究所や、どんなフィールドに就職ができるかに興味がありました。本大学には、色々な学生支援や、次世代研究者挑戦的研究プログラムがあることを知り、研究者が活躍しやすい環境づくりに参加できていることをうれしく思います。どうぞよろしくお願いいたします。

2022年8月1日着任

## 中村 彰彦

なかむら・あきひこ

生命・錯体分子科学研究領域 特別研究部門  
クロスアポイントメント准教授

分子科学研究所と静岡大学のクロスアポイントメント(25:75)で最長5年間お世話になります。2019年12月まで生命・錯体分子科学研究領域で助教をさせていただいており、外に出てみて分子研の研究環境のありがたさがわかりました。この環境を生かしプラスチック分解酵素の改良と開発を進めていきたいと思っておりますので、これからよろしくお願いいたします。

2022年8月1日着任

## YAN, Yaming

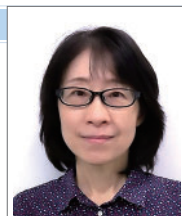
理論・計算分子科学研究領域  
理論分子科学第二研究部門 特任研究員

I am a postdoctoral research associate working on theoretical molecular science, and interested in the field of condensed phase quantum dynamics--developing new theoretical methods as well as applying them in photosynthetic light-harvesting complexes and organic semiconducting materials. Before joining IMS in August 2022, I worked as a postdoctoral research associate for two years at Institute of Chinese Academy of Sciences (ICCAS), where I also completed my Ph. D. training.

2022年9月1日着任

## 大原 さとみ

おおはら・さとみ

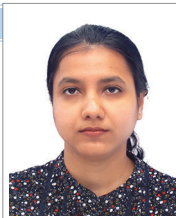
協奏分子システム研究センター  
階層分子システム解析研究部門 技術支援員

2022年9月より秋山グループでお世話になっております。9年前、名古屋大学医学系研究科で疫学調査に参加したことがきっかけで、研究に携わるようになりました。

歳を重ねた者にとって、新しいことを覚えていく日常は喜びであり、とても励みになっています。不慣れな私にお付き合いただき、ご指導くださっているみなさま、いつもありがとうございます。



2022年9月26日着任

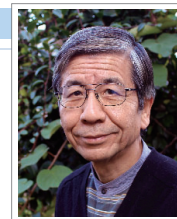
**CHAKRABORTY, Ipsita**メゾスコピック計測研究センター  
織細計測研究部門 特任研究員

After completing my PhD from Muroran Institute of Technology in September 2021 with MEXT scholarship, I joined Okamoto group in IMS. My research caters towards the development of an optical microscope to analyze chemical, biological or photonic samples using the principles of circular dichroism.

2022年10月1日着任

**藤川 武 敏**

ふじかわ・たけとし

研究力強化戦略室  
特命専門員

企業研究所の(株)豊田中央研究所で、エンジン燃焼解析関係の研究に27年間、知財・広報関係の業務に6年間従事後、(公財)豊田理化学研究所へ7年間出向し、事務全般の仕事に携わりました。この間、分子研の皆様とは多くの接点がありましたが、このたび縁あってこちらで勤務させて頂くことになりました。これまでの経験を活かしつつ、微力ながら皆様にお役に立てればと思っています。

2022年10月1日着任

**丸山 莉央**

まるやま・りお

生命・錯体分子科学研究領域  
錯体触媒研究部門 技術支援員

2022年10月から榎山グループの技術支援員としてお世話になっております。

無機化学の分野に携わることが多かったため有機合成については素人ではありますが、研究室の皆様のお力を頂きながら実験を行っております。少しでも研究のお手伝いができるよう、安全第一で業務に取り組みさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

2022年11月1日着任

**萩原 健太**

はぎわら・けんた

極端紫外光研究施設  
光物性測定器開発研究部門 IMSフェロー

ドイツでトポロジカル物質の研究で博士の学位を取得後、11月より松井グループにてお世話になっております。これまでの光電子分光、光電子運動量顕微鏡の経験を、UVSORでの研究発展に生かしていきたいです。所内外のみならずの議論や共同研究等も楽しみにしています。初めてのことで、戸惑うことも多いですが、精一杯やっけていこうと思います。どうぞよろしくお願い致します。

2022年11月1日着任

**西岡 稚子**

にしおか・わかこ

光分子科学研究領域  
光分子科学第二研究部門 事務支援員

11月より大森研究室で事務支援員としてお世話になっております。大学時代は光について学び、卒業後の就職先では、光を扱う製品開発に携わっておりました。その後しばらく子育てに専念しておりましたが、またこうして学んできた分野に関われる機会をいただけたことに感謝しております。周りの皆様にご指導いただきながら、一日でも早く皆様のお役に立てるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

2022年11月1日着任

**山本 優里佳**

やまもと・ゆりか

協奏分子システム研究センター  
階層分子システム解析研究部門 技術支援員

2022年11月より秋山グループの技術支援員としてお世話になっております。

今まで経験したことのない事ばかりで勉強の日々を送っていますが、温かいご指導に感謝しています。

皆様のお役に立てるよう頑張りますので宜しくお願い致します。



2022年11月1日着任

## 蜂須賀 円

はちすか・まどか

 協奏分子システム研究センター  
 階層分子システム解析研究部門 技術支援員


2022年11月より、秋山グループの技術支援員としてお世話になっております。数年振りの実験業務で緊張や不安もありますが、グループの皆様に温かくご指導頂きまして、作業にも少しずつ慣れることができいております。ご指導頂きましたことを活かし、お役に立てるよう努めて参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

### アウトリーチ活動

#### 第133回分子科学フォーラムについて

2022年6月10日に行われた第133回分子科学フォーラム（YouTube Liveによるオンライン開催）では、相模中央化学研究所の田中陵二先生に「物質科学とその美の源流をさぐる」と題してご講演いただきました。色材と鉱物、つまり、美しい色と、綺麗な形に対する憧れから、これらを手に入れたい、作り出したい、という素直な探究心が芽生え、ここから化学・物質科学が誕生したのであり、暗記科目とみなされがちな化学は、実は「物質の質感を伴うモノの学問」と捉えることができると述べられました。また、ご講演では、色材と鉱物について、古代からの天然物利用、および人工合成の歴史をわかりやすく解説いただきました。さらに田中先生ご自身が過去の合成方法を再体験されたことや、柔らかい結晶（柔粘性結晶）のお話など、興味が尽きませんでした。ご視聴の皆様からは、左右水晶の見分け方から、研究で印象に残った出来事、さらに結晶学、鉱物学の現状と将来性など、様々なご質問・コメントを多数、チャット欄にいただき、これを元に司会が代わって質疑しました。

#### 第134回分子科学フォーラムについて

2022年12月9日に行われた第134回分子科学フォーラム（YouTube Liveによるオンライン開催）では、学習院大学の田崎晴明先生に「ミクロとマクロを結ぶ科学：小さくてあまり面白くないものがすごくたくさん集まると新しい面白い性質が勝手に生まれてくるという話」と題してご講演いただきました。ご講演ではまず、一見平らな大地が、実は平らではないなど、この世界が私たちの直感で捉えられる通りにはできていない、ということからお話を始められました。物質が連続したものではなく、原子・分子といった粒々でできていることも、元々直感では捉えられないもので、そういった「小さくてあまり面白くないもの」から、「新しい面白い性質」が生まれてくること、特にその典型である相転移（イジング模型）について、実際に数式を紐解きながら説明されました。さらに、相転移点付近でイジング模型にフラクタル構造が現れることを示され、元々そうなるように作ったわけではないのに、単純な模型から複雑な現象が現れるのは、ある種の数学的奇跡であると述べられました。ご視聴の皆様には、イジング模型で水の相転移なども説明できるか、熱力学は統計力学の基礎になっているのか等、様々なご質問・コメントを多数、チャット欄にいただき、これを元に司会が代わって質疑しました。

(広報室 記)